

【発展】2. 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

所管部局：企画振興部

(1) 県民文化の創造

■ 現状と課題

- ・芸術文化は、人々の創造性を高め、心のつながりをはぐくみ、心豊かな生活を創造するとともに、国内外に向けた情報発信などを通じ、活力ある地域社会の形成に寄与する重要な役割を果たすことから、多彩な県民文化を創造していくことが期待されています。
- ・芸術会館の施設の老朽化や絵画などの十分な展示スペースが確保できないなど機能面の課題を解決し、県民の質の高い芸術文化に触れる機会を確保するため、県立美術館構想を推進しています。

■ これからの基本方向

- ・多様ですぐれた芸術文化などの鑑賞機会を増やすとともに、公立文化施設スタッフの業務研修を実施するなど、多彩な県民文化を創造する文化活動の環境づくりを進めます。
- ・文化を支える人や文化団体をつなぐ交流・基盤づくりに努めるとともに、国内外に向けた文化や感性の発信を支援することで、県民の主体的な参加による文化活動の交流を促進します。
- ・将来の文化の担い手となる若者や子どもの豊かな感性を育て、文化を尊重する心をはぐくむため、芸術文化の鑑賞機会や専門家による直接指導の機会を提供するなど、自主的な文化活動の促進と支援に努めます。
- ・子どもたちの挑戦や自己実現を支える大分県づくりを進めるため、未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造性をはぐくむ拠点となる美術館をつくります。

■ 主な取り組み

- ①多様ですぐれた芸術文化の鑑賞機会の提供と文化活動の環境づくり
 - ・海外・国内のすぐれた芸術文化、多様な伝統文化などの鑑賞機会の提供・充実
 - ・インターネットなど各種メディアを活用した文化情報の県民への提供
 - ・公立文化施設スタッフの専門性や企画運営力の向上
 - ・企業メセナ制度の紹介や相談による企業メセナ活動の促進
- ②県民参加による文化活動の促進と文化を支える人づくり
 - ・文化活動を主体的に担う人材の育成
 - ・国内外に向けた芸術や地域文化の発信の支援
 - ・文化を支える人や文化団体の交流ネットワーク形成の促進
- ③次代の文化の担い手づくり
 - ・児童生徒に対する無料招待事業など若者の芸術文化の鑑賞・体験機会の充実
 - ・若者による自主的な文化活動の促進
 - ・海外派遣研修など豊かな才能を持った若手芸術家への支援や発表機会の充実
 - ・芸術活動による子どもの豊かな感性の育成の推進
- ④新しい美術館の整備
 - ・計画の段階から運営に至るまで県民参加を促進し、県民とともに成長する美術館をモットーに、県立美術館構想の具体化を推進

■ 目標指標

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 年度 | H22年度 | | H27年度 |
|---------------------------------|-----|--------|-----|-------|---------|--------|
| | | | | 目標値 | 実績値(見込) | 目標値 |
| 大分県公立文化施設協議会加盟施設の主催行事来場者数 | 人/年 | 48,341 | H22 | — | 48,341 | 64,688 |
| 県民芸術文化祭(主要行事・参加行事)参加者数 | 人/年 | 37,159 | H22 | — | 37,159 | 40,295 |
| 大分県芸術文化振興会議が選定した芸術文化事業等の鑑賞児童生徒数 | 人/年 | 3,608 | H16 | 4,500 | 10,700 | 12,000 |

【発展】 2. 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

所管部局：教育庁

(2) 文化財・伝統文化の保存と活用

現状と課題

- ・県内には、各地域で長い間受け継がれてきた文化財・伝統文化が数多く残されています。こうした文化財・伝統文化は、地域の歴史や文化を理解するうえで重要なものであると同時に、地域の人々の誇りやきずなの礎となるものであるため、その保存と活用、継承が必要です。

これからの基本方向

- ・県民が郷土に愛着と誇りを感じる県民共有の財産として、文化財・伝統文化を尊重し愛護する意識の高揚に努めます。
- ・地域に守り伝えられてきた文化財・伝統文化が将来の世代に引き継がれるよう、文化財の指定・登録制度を活用し、適切に保存・管理する体制づくりを推進します。
- ・文化財が地域のきずなを維持する礎であることに留意し、地域の歴史的・文化的特色を生かしたまちづくりの推進、文化財・伝統文化の観光資源としての活用などを推進します。
- ・県民にわかりやすい文化財・伝統文化の情報を発信するとともに、伝統文化などの後継者の育成や次代を担う子どもたちが文化財や伝統文化に対する理解を深める取り組みを推進します。

主な取り組み

①文化財・伝統文化の保存

- ・地域に受け継がれてきた文化財の指定や登録の推進
- ・文化財保護指導委員による文化財パトロールの充実
- ・文化財を案内・紹介するガイダンス施設の整備充実
- ・地域の様々な文化財を周辺環境も含めて総合的に保護する取り組みの推進

②文化財・伝統文化の活用

- ・地域の文化施設を利用した文化財の展示・公開の推進
- ・文化財の修理現場公開など観光振興
- ・コミュニティを維持・活性化する役割がある収穫祭などの伝統文化を大切にすの県民意識の醸成

③文化財・伝統文化の継承

- ・歴史博物館などにおける郷土の歴史を学ぶ訪問講座や体験学習の拡充
- ・文化財・伝統文化に関するアーカイブの構築
- ・インターネットやマスメディアを活用した情報の発信
- ・学校教育などを通じた子どもたちの伝統文化の鑑賞、体験、発表機会の充実
- ・文化財愛護団体の活動の充実
- ・地域固有の伝統工芸・伝統芸能の保存継承のための後継者育成

④世界遺産を目指した取り組み

- ・世界遺産登録に向けた環境整備

目標指標

| 指標名 | 単位 | 基準値 | H22年度 | | H27年度 | |
|---------------------------------|-----|--------------------|-------|-----|--------------------|---------------------|
| | | | 年度 | 目標値 | 実績値(見込) | 目標値 |
| 歴史博物館などの入館者数及び訪問講座等受講者数(入館者数のみ) | 人/年 | 97,497 (83,085) | H22 | — | 97,497 (83,085) | 100,000 (84,800) |
| 国・県指定文化財数 | 件 | 835 | H16 | 870 | 867 | 900 |

【発展】2. 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

所管部局：教育庁

(3) 県民スポーツの振興

現状と課題

- ・多くの人がスポーツに関心を持っているにもかかわらず、定期的・継続的にスポーツを実践している人は多いとはいえないため、県民が生涯にわたって日常的にスポーツに親しめるよう、身近で利用しやすいスポーツ環境の整備が求められています。
- ・天皇杯・皇后杯を獲得した大分国体を一過性のものに終わらせないよう、大分国体で培った競技力を維持することが重要です。また、少子化などの影響により競技スポーツ人口が減少していることから、底辺拡大を図り、競技スポーツ人口を増加させることが必要です。
- ・スポーツは、観戦や応援によっても感動を得ることができます。県内でもワールドカップサッカーの開催以降「高度で質の高いスポーツを観る」ことのすばらしさが生活文化として定着しつつあり、その振興が求められています。

これからの基本方向

- ・県民のスポーツに対する関心や意欲を高め、誰もが気軽に自分のレベルに合わせてスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。
- ・国体での天皇杯順位10位台の定着をめざして、大分国体で培った選手強化システムを生かした本県手づくり選手の育成・強化や競技団体への支援を引き続き充実させます。また、ジュニア選手の早期発掘・育成・強化に取り組むとともに、競技人口の拡大を図ります。
- ・高度で質の高いスポーツに接する機会を増やすことにより、スポーツに親しむ雰囲気づくりを醸成し、健康で文化的な生活の実現とスポーツ人口の拡大を図ります。

主な取り組み

①県民スポーツの推進基盤の整備

- ・地域住民が主体的に運営し、地域のだれもが参加できる「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成
- ・青少年の豊かな心と体を育むスポーツ少年団活動の推進
- ・大分県民体育大会や県民すこやかスポーツ祭などのスポーツイベントの充実
- ・スポーツ指導者の養成・確保とスポーツ団体の組織強化の促進
- ・学校体育施設の開放の促進
- ・大分県スポーツ推進計画によるスポーツ施設の整備充実
- ・大分県教育委員会のホームページによるスポーツイベントなどのスポーツ情報の提供
- ・障がい者スポーツ指導者の養成とスポーツを通じた障がい者の社会参加の促進

②競技スポーツの振興

- ・国際大会や国民体育大会、インターハイなどの各種全国大会などで活躍することのできる優秀選手の育成・強化
- ・各競技団体の競技力向上対策への継続的な支援
- ・公認スポーツ指導者など高い指導技術を有する指導者の養成・確保
- ・すぐれた資質を有するジュニア選手の早期発掘と育成
- ・平成25年度の本県を中心開催県とする北部九州4県合同のインターハイに向けた競技力向上とおもてなしの心のこもった大会の開催

③スポーツ文化の定着

- ・地域貢献活動の促進による地域密着型プロスポーツの確立
- ・大分国際車いすマラソン大会などの観戦やボランティアとしての参加を通じた障がい者スポーツの振興・普及啓発
- ・質の高いスポーツに接する機会の拡大
- ・県民とプロスポーツ選手とのふれあいの場づくり

目標指標

| 指標名 | 単位 | 基準値 | H22年度 | | H27年度 | |
|--------------------------|------|--------|-------|-----|---------|--------|
| | | | 年度 | 目標値 | 実績値(見込) | 目標値 |
| 総合型地域スポーツクラブの創設数 | クラブ | 14 | H16 | 60 | 36 | 75 |
| 県民すこやかスポーツ祭の参加者数 | 人/年 | 7,221 | H17 | — | 11,585 | 14,081 |
| プロスポーツチームの県内開催試合の平均観客動員数 | 人/年 | 14,599 | H22 | — | 14,599 | 18,500 |
| プロスポーツチームの県内小学校等の訪問箇所数 | 箇所/年 | 187 | H22 | — | 187 | 260 |